

通勤災害(業務災害を除く)

(令和5年度:R5 / 4 / 1 ~ R6 / 3 / 31)

(一社)

警備業協会

1 事故の有無(令和5年度中に貴社で発生した 通勤災害 の総発生件数と総被災者数)		無 ・ 有 (件 名)		
2 会社 (都道府県協会届出社名)	会員番号 No.	A 専業・兼業(ビルメン・運送業・その他())		
	社名	B 労働(労災)保険番号No.		
	代表者名	C 各種区分欄の業種番号 No.		
	住所 TEL	D 資本金 3月末現在	個人 300万円未満 300~500万円未満 500~1,000万円未満 1,000~5,000万円未満 5,000万~1億円未満 1億円以上	
		E 警備員数	3月末現在 名	
		F 主たる業務	1号・2号・3号・4号・機械・その他()	
3 被災者	性別	男 ・ 女	職種(事故時) A)警備員(常用・臨時) B)その他(機械警備技術士・経営幹部・営業員・事務員・その他())	
	生年月日 (事故時年齢)	昭・平 年 月 日生 (事故時年齢 歳)	勤続年数(事故時) 年 か月 ・ 1か月未満(日)	
4 事故発生年月日	令和 年 月 日 ()曜日	午前 時 分ごろ 午後 時 分ごろ	天候(○はひとつ) 晴・曇・雨・雪・台風 強風・霧・凍結・突風 その他()	
5 事故発生状況	A)出勤途中	どのような業務に従事するための出勤途中か(1号・2号・3号・4号・機械・その他)		
	B)帰宅途中	どのような業務に従事した後の帰宅途中か(1号・2号・3号・4号・機械・その他)		
6 事故発生場所	A)道路(交差点・T字路・横断歩道・歩道・側溝・踏切・橋・カーブ道・坂・公道・その他道路) B)駅(駅階段・駅ホーム・駅構内) C)階段 D)駐車場等 E)乗り物(電車・バス) F)その他()			
7 事故の程度 (○で囲み休業日数をはっきり)	A)死亡	B)永久全労働不能	C)永久一部労働不能	一時労働不能 D)8日以上休業 E)4~7日休業 F)1~3日休業 G)休業なし
		級	級	日 日 日
8 主な傷病名等	A)主な傷病名		B)被災者の復帰 有(元の職場・配転)・無(退社・その他)	
9 被災時の乗物	A)徒歩 B)自転車 C)バイク D)自家用車 E)業務用車両 F)電車 G)バス H)その他()			
10 事故の原因	A)転倒[どこで()どうして()] B)墜落・転落[何から()何へ()] C)激突した[何に()] D)はさまれた[何に()どこを()] E)飛来・落下物[何が()どこに()] F)倒壊・崩れてきた[何が()] G)激突された[何に()] H)切れた・こすれた[何に()どこを()]		I)無理な姿勢・動作の反動[どうして()] J)高温・低温物[何で()どうなった()] K)ガス中毒 L)交通事故 → 事故の相手 a)バイク b)乗用車 c)トラック・ダンプ d)工用車両 e)バス f)人 g)自転車 h)自己のみ i)その他() M)犯人・暴漢・動物等に[何に()どのように()] N)その他()	
	11 その事故の責任	A)交通事故 a)もらい事故 b)自損事故 c)双方責任事故 d)その他 e)不明 B)交通事故以外 a)自己の責任(不注意など) b)他者の責任(本人の責任なし) c)双方責任 d)不明 e)その他		
12 事故の概要 ※ ①場所 ②作業内容 ③物や環境 ④不安全な状態 ⑤どのようにして 事故が発生したかを 明確に記す。 (図面) 特に「死亡」「永久全」「永久一部」の 事故は図面を付けて 解説(別紙も可)				
13 被災者数	当該被災者を含め社員 ()名被災			
14 保険負担機関	A)労災(%) B)自動車保険(%) C)その他()			
		記入者	役職	

※(一社)全国警備業協会が「労災事故実態調査」において加盟員から個人情報を収集、利用する目的は、加盟員の労災事故の実態を明らかにし、労災事故防止、労災保険収支改善活動の資料とすることであり、第三者に開示することはありません。当協会は、加盟員のプライバシーを尊重し、個人情報保護法及び「警備業における個人情報の保護に関するガイドライン」を遵守して、個人情報を慎重に取り扱います。